

質疑応答	
市民	反対。今30億円かけて建設するのか。 人口は減少している。二十歳の子は1,500人で、10歳の子が1,000人、去年生まれた子は500人。その子たちの負担にならないか。将来の人づくりというが、曖昧でメリットがない。 ランニングコストが書いていない。入館料も書いていない。何の収入もない。
文化課長	ランニングコストについては、建物の維持管理費、人件費、事業費など色々なものがある。建物の維持管理費については、建物の形ができていないので、算定は難しく具体的には出していない。 入館料は無料なので、収入はないと考えている。公民館や図書館と同じ社会教育施設なので、税金で運営していく。
市民	新聞で読んだ記事には、文化庁の方針として、入館料の収益性を保たなければならないと書いてあった。
文化課長	新聞の記事は、国立博物館が対象。文化庁の所管であり、展示の部分において努力するようにということ。一般的な地方の博物館に対するものではない。一般的な地方の博物館は、博物館法26条に、対価を徴収してはならないとある。
市民	収入無しでいいということか。
文化課長	そう。
市民	収益性がなくてやっていけるのか。それが市の考えか。
市民	令和4年度博物館法改正のところで、文化庁で資料を出しており、入館料については「必要対価を徴収することができる、各館の実情を踏まえて適切に判断する、全国の8割の公立博物館が入場料を徴収している」とある。維持管理のための入館料はとってよい。富士山世界遺産センターもとっている。なぜ富士宮市はとらないのか。
文化課長	基本的には入館料をとらないが、企画展等の際はとる場合がある。ほかの博物館から展示物を借りてくるため、プラスで費用がかかる場合は入館料をとる。博物館法の但し書きに、博物館の維持管理のためにやむをえない事情がある時は徴収することができるとある。
市民	全国の公立博物館の8割が入館料をとっている。空調を24時間行くとそれなりの費用がかかる。すべて市民の負担になる。公共施設であるため、費用については、市で考えるべきだ。
文化課長	歴史文化を守ることは市の業務のひとつ。そのために税金を使わせてもらって後世に残すことは必要なことだと思っているので、税金で賄いたい。24時間の空調は、建物全体ではなく収蔵庫のみ。
市民	世界遺産センターもかなりの金額がかかっている。
教育部長	基本計画策定の中では原則入館料は無料としているが、これから基本設計等に入っていく中で、検討の余地がある。
市民	R3基本構想のときに、委員から、運営方法、活用、来館の推移、販売促進等の検討について意見が出ている。この時の委員が基本計画策定委員会に5名入っている。R3にすでに検討するように言われているが、どうなっているのか。
教育部長	今後設計が進むと色々な経費が分かってくる。その段階で検討する。
市民	国の交付金を最大限活かしていくとのことだが、どんなイメージか。
文化課長	国の交付金は2つ。1つは地域未来交付金、補助率1/2、10億円限度。 もう1つは社会資本整備総合交付金の、都市構造再編集中事業で、都市機能誘導区域の中で最大1/2の補助率。中心市街地の中に施設を集約していく場合に使える。色々な条件があるので削られる場合もある。
市民	30億円の半分は出るのか。
教育部長	およそそのくらい。条件によって削られる場合もある。

市民	81ページが一番下の、委員の発言の中に、例えばまちなかの小中学校が小中一貫校になり、一方が空けばそこに博物館を建てることのできるかもしれないという意見がある。 高校の統廃合が話題になっているが、こういった考えについてはどう思っているか。
教育部長	他地区でも廃校の利用についてご質問があった。市内の小中高は大体建設から40～50年経っている。市の公共施設の場合、長寿命化工事をしながら70年使う。仮に使うとしてもあと20年くらいしか使えない。そのまま使えるわけではなく、博物館用に改修するとかなりお金がかかる。新築で建てれば70年もつ。50年後、100年後を考えたときに、新築の方がコストが小さくなる。
文化課長	101、102ページの、既存施設の活用というところで、今回基本計画を作るに当たり、基本理念を進めるためにどんな施設であったらいいか、どんな事業をやればいいか、場所はどこがいいかなどについて決めてきたが、考えている施設をつくるために適した学校があるかは分らない。 子供の人数がどんどん減っていることもあり、今のお子さんたちにも、中学卒業までには博物館で市の歴史文化に触れていただきたいので、できるだけ早く博物館をつくる必要があると考えている。
市民	伊豆市では中学校を統合し、近くには広大な公園、そこで防災訓練をやったり市民の憩いの場にしたり、かなり余裕がある。今回の建設候補地である駐車場の周りには、そんなに余裕がない。50年100年先に有効な役割機能を果たすかどうか。 資料104ページに、歴史ロマンの大宮小とある。私はこれに非常に興味を感じる。大宮城の跡を残し、かつてこういうものがあったという歴史公園のようにして、その近くに博物館を設けるのはどうか。そうすれば市民も何回も来るのではないか。 この資料を何回も読んだが、わくわくするようなものがない。これを建てたから何度も訪れるという魅力がない。博物館をただ建てれば良いのではなく、サグラダ・ファミリアのように中核的なものを建てて、あとは時代とともに皆でつくっていく、というのが今目指す方向ではないか。
教育部長	きらら駐車場を市の中核として最適と考えており、そこから発展していくようなまちづくりにしたいと思っている。
市民	博物館建設には反対。インフラの方が先。僕は68歳だが、博物館がなかった自分たちは負の人間か。 歴史を知った人は、これからの未来どう学ぶかという説明が欲しい。博物館があるとどういう未来にできるのか。 博物館の費用は、これからの子どもたちに負担をかける。
文化課長	基本理念にあるように、歴史文化を知って郷土愛を持ち、探求創造の場、そして出会い発見の場として博物館の中で活動することで、自分からアクションを起こしていく経験を積むことが大切と考えている。 子ども達だけではなく、大人も博物館で歴史文化を知り、学び、考えることができる。 国でも、歴史文化を知るということは、自分の地域を知ることと同時に、ほかの国や地域を思いやる気持ちを持つことができると言っている。富士宮にかかわる人材が育つことも期待しているが、もっと広い心を持った人づくりも期待したい。
市民	万野は元々水がないところ。だから水、インフラが欲しい。文化を知ったから、役立てようと思って区長もやった。 30億円で建物を建てると、維持管理費が100億200億かかると思う。 人づくりと言うが、どういう人たちをつくることを目指しているのか。民間なら見返りがないと30億円出せない。きれいごとを言っている場合ではない。例えば大きな震災が起きた場合、万野は古い水道だから、断水状態になってしまう。文化より水が大切。それも万野の文化を知って育ったから分かる。
文化課長	そういったことが段々伝わっていかなくなっていくかもしれない。そのようなことを知っている方も歴史文化を伝える活動をして、万野に水をしっかり整備する方向になっていくように、これからの人に伝えていっていただきたい。

市民	賛成・反対というわけではなく、どういう計画か知るために説明会に来た。 感想としては、メインになるのは何なのか気になった。交流することなのか、それともちゃんとした場所に保存することなのか。 23ページに収集と保存という欄があるが、これは今から募って集めるのか。この部分に対する比重はどのくらいになるのか。例えば、思いのほか集まらなかったり研究が進まなかったりする可能性があるかもしれない。形があっても、中身が伴わない可能性がある。
文化課長	課題として、しっかりした収蔵施設がない、皆さんに歴史文化財を知ってもらい伝える場所がないということがある。それが、博物館で叶えられる。 今埋蔵文化財センターにすでに集めたものがある。それ以外に個人宅にあるものを集めていく。市民の方にそういったものの大切さを伝えると同時に集めていく。これらを集めていくことで、富士宮市の歴史文化を伝えることができる。口頭で伝えることもできるが、証拠品として見ていただくことで、今話したものが本当だとしっかりと伝えることができる。今あるものにプラスで収集して、しっかり伝えていく。
市民	埋蔵文化財センターの過去の入場者数で、平均すると1日1人程度だが、埋蔵文化財センターをつくったときは何人入ると思ってつくったのか。
文化課長	埋蔵文化財センターは展示施設ではない。建物を建てる時に発掘調査をして掘って出てきたものを記録する場所。プラスして一部を展示している。展示メインの施設ではない。 芝川の旧保健センターを改修してつくった。当初は土日もやっていたが、交通の便も悪く人も来ないため、土日はやめた。利用人数は増えてきている。
市民	埋蔵文化財センターの目標の入場者数は。
文化課長	埋蔵文化財センターは、目標を立ててつくった施設ではない。
市民	博物館の目標入館者数は。
文化課長	近隣の博物館は3～4万人が多い。富士市は3万8千人。富士宮市の方が人口が少ないので、2～3万人が目標。
市民	令和3年の基本構想で、委員からの指摘を挙げられている課題について、現在の基本計画に網羅されていない。これらは今後網羅して作り上げるのか。
文化課長	委員から挙げられた課題として、施設整備諸室について、収蔵品の管理方針を策定し効率的な運用方法を検討することとある。今回それを踏まえて収蔵計画や施設の整備計画を検討している。 また、運営について、ミュージアムショップは博物館の魅力向上のために重要な要素であるから検討すること、活用の視点から人の流れに基づく来館者の推計などを行うこと、とある。 ミュージアムショップについては42ページのところに利用者サービス、交流スペースということで、500㎡予定している。ミュージアムショップは考えているが、規模がどの程度なのかは基本計画を決めていく中で検討していく。
市民	その結果について、基本計画に反映されているということでもいいか。
文化課長	はい。記載されている。
市民	物販や運営方法などを今後検討していくとのことだが、基本計画でうたわれるのか。
文化課長	基本計画に人数までは載せていない。ミュージアムショップの面積は基本設計で載せる。基本計画では載せない。
市民	先ほど来館者を2～3万人と回答していたが、それは記載しないのか。
文化課長	今は載せないで素案を作っている。載せるべきなら、パブリックコメントを出して欲しい。そうしたら策定委員に諮って検討する。
市民	富士宮市では、都市計画マスタープランで、あの地域は用途を市街地にしている。前面の道路は高さなどを制限している場所。1日2人も入らない埋蔵文化財センターの機能を持たせたものを、市街地という場所に建てるということは、都市計画マスタープランに即したもののなのか。市のまちづくりに貢献する計画だという考えか。
教育部長	教育委員会ではそう考えている。まちなかには、文化会館や図書館といった教育的施設があり、そこと連携して一体してまちづくりを進める。都市計画法の用途地域の制限に合致する形で計画している。

市民	あの場所の用途は商業で、商業活性化が業務。都市計画法に基づくと、文化財や文化施設は、研究施設及び研究教育施設。商業業務とは全く違う取り扱い。本当にこれが市のマスタープランに即しているのか。
教育部長	即していると考えている。
市民	博物館建設に賛成。やるんだったらきちんとしたものをつくってほしい。中途半端なものをつくっても誰も使えない。 議会だよりにあったが、富士宮市は、600億円のお金を動かせる自治体。30億円の中で、10億円くらいが税金。そんなに大きなお金ではない。30億円、26億円という数字が独り歩きしている。これは未来への投資。選挙が近いので、30億もすると市民をいたずらに煽るなら、そんな選挙活動はしないで欲しい。 市議会議員の年収が800万円。3人削れば年間2,400万円浮く。博物館の耐用年数を50年とすると、12億円。議員を3人辞めさせればいい。 反対の人の意見を聞くと、建てたランニングコストを考え、文化財保護は必要だが、今やることかと言っている。だが、上がった物価は下がらないので今やるべき。 文化会館内の郷土資料館に行ったが、あの範囲でしか展示できないなんてもったいないと思った。 埋蔵文化財センターも行った。妻は博物館に反対していた。しかし、結論、すごいものがあるんだねと言っていた。大鹿窪と千居、国指定の縄文の遺跡が二つもある。縄文時代に人々の定住は無かったと習ったのに、縄文時代の定住を証明する遺跡が2つもある。そして、縄文から時代が飛んで、昭和の農機具等が少し展示してあった。その間の平安時代や、戦国時代、江戸時代のものを見せてくれないか聞いたが、博物館がないから展示できないと言っていた。私の妻のように、歴史に興味がなくても、本物を見ればすごいねと言ってくれる。富士宮に何があるかと子どもに聞いたら、何もないと言われた。アイデンティティを与えるためにも博物館を建てるべき。 民間でやっても赤字になる。だから公共でやる。600億円のお金を動かせる自治体で、低金利のローンを組んでやるのであれば、あまりお金のことを言うのはいかがなものか。教育に活かすためのお金なので、反対意見もあるが、中途半端なものをつくらないで欲しい。煽っている人もいる。公人が反対するなら、きちんと細かく代案も出して反対するべき。 つくるならコラボの跡地はどうか。知り合いの不動産屋に聞いたら5億円くらい。修学旅行客も呼べる。 福井県立大学が恐竜学部を作った。そういう感じで、例えば高校が統合されたときに、静岡県立大学が富士山学部を作って、北高の跡地に立派な博物館をつくり、タイアップして学術研究に役立てるなどしたらどうか。全国の大学等から人が来るものをつくって欲しい。
市民	今の意見は貴重。600億円というのはMAXで今後どんどん減っていくと思う。身の丈に合った市政をして欲しい。子ども達に負担を強いることはやらないで欲しい。市民に直結したことにお金を使って欲しい。
市民	文化は大切。どのようなものになるか分からないから、納税者である市民にそのあたりをしっかりと提示して欲しい。事務事業評価をして、市民に成果を公表していくべき。